

令和元年度 年度 事業評価書

評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月分
施設名	鳥取市青谷町特産物加工販売施設(青谷ようこそ館)
指定管理者名	株式会社 風土資産研究会
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所管課名	農政企画課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	計画通りに実施。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	職員2名 パート1名で対応。
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	食品衛生、軽減税率研修会、HACCP研修会に参加。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	体験施設でないため、施設の外部利用者なし。出品者に対して利用規定に基づき対応。
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	鳥取市書式にて業務報告書を作成し、報告後保管。
6 減免対象者は、適切に減免しているか	該当無し	該当無し	聞取り	減免対象者なし。
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	各種イベント(町内、県外)に参加し青谷町の農産物、加工品PRを実施。 青谷地域にぎわい創出実行委員会、青谷地域づくり連絡協議会、青谷高校活性化を支援する会、青谷町観光協会に参加し。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り	館内喫茶コーナーに満足度調査アンケート用紙を常設し、声掛け案内をしているが、回答数が少ない。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	要望、苦情等に対し、できる範囲で対応している。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	書類・聞取り	ダイハツ生活協同組合と20世紀製等取引し受注増。 在飯飲食店野乃鳥への白ネギ販路開拓実施。 町内企業・農家と連携してアイスクリーム、大福等商品開発を実施。 町内生産者、商店と連携し、リニューアルオープンイベント、バレンタインフェアなどを実施。
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	開館日に実施。
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	随時点検し、必要に応じ修繕を実施。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類	随時、衛生品・備品消耗品等の在庫状況を確認し、必要に応じて補充している。
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り	適切に管理している。
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	点検時消耗部品等交換。
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	3	3	書類・聞取り	妥当である。
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞取り	適正に実施
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	規定により適正に管理されている。
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞取り	滞納なし。
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞取り	適切。
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	現地確認	適切。

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	行政・独自観光情報サイト等で情報公開を行っている。HPは令和2年度に公開予定だったが、緊急性(新型コロナウイルス関連情報)のある広報をするため前倒して3月公開した。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取り	館内で公開中。
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類	緊急時の連絡網はもとより、毎月上旬に業務報告書を提出。

VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	書類・聞取り	警備会社に警備委託し適切に実施。また管理職による鍵の保管は適切。
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り	緊急衛生マニュアルを整備。

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	自主事業などで増収に努めるとともに、経費削減に努めた。収支のバランスは正常になった。
施設所管課	令和元年度より、指定管理者が(一財)鳥取市農業公社から(株)風土資産研究会に変わった。初年度である令和元年度の収支は、原材料費仕入れの増加等では赤字となったが、令和2年度以降は加工品目や自主事業の根本的見直しが行われるため、今後の経営に期待する。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	①新規自主事業として「青谷上寺地遺跡スーパーボランティア事業」を受託し青谷上寺地遺跡公園の景観保全除草作業を実施した。また、ダイハツ生活協同組合との20世紀梨豊水梨の大口取引成立。②青谷地域観光周遊基盤整備事業としてレンタサイクルを2月に開始したがコロナウイルスの影響で利用がなかった。③喫茶事業は氷カフェ、ホットケーキ等新メニューを考案し売上が少し増加した。④自販機事業はウエルネスができた影響もあり減収傾向にある。⑤受託販売事業、料理代理店事業、進物梨斡旋販売事業は例年並みの実績となっている。
施設所管課	前指定管理者から自主事業を継承し、加えて新たな事業(①スーパーボランティアなど)に取り組んでおり、評価できる。

4. 総括コメント

指定管理者	効率的な運営と店舗販売・自主事業での収入増加を目指し運営を行うため、仕入れ業者や営業内容等を見直した。既存の加工品製造を見直し、地産の農作物等で新商品を開発を進めた(焼肉のたれ・豆腐・こんにやくなどコストパフォーマンスの悪い商品の製造を中止または縮小。品質の悪い商品の見直しなど。)が、指定管理初年度ということもあり前年度を参考にしていたため思うようにコストの削減や業者の選定、商品製造中止につながらなかったため、予定していた収支とはかけ離れた数字になってしまった。新商品としては、大福・生チョコの販売、また生姜アイス、酒粕アイス、人参アイスの商品開発を開始、マーケティングを実施し、次年度の商品化に向け準備している。あお市等地元イベント、ダイキンアレス朝市、池田市市民フェスティバル、池田市商業祭、池田市農業祭に出店し、青谷町の特産品のPR販売を実施し、「ようこそ館」の認知度を高めた。「青谷地域にぎわい創出実行委員会」「青谷高等学校活性化を支援する会」「青谷地域づくり連絡協議会」「あお市部会」「青谷町観光協会」に参加し、青谷町活性化に協力した。次年度以降も、地域振興・観光振興に本格的に取り組んでいきたい。
施設所管課	前指定管理者からの承継業務の見直しがうまく行えず、抜本的な見直しが次年度から実施されることになっており、今後の経営に期待する。

確認方法	書類、聞取り、現地確認
------	-------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている

【資料2】
1. 施設利用者数

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
利用者数		20,986	25,000							
合計	0	20,986	25,000	0						

(単位:人)

2. 事業収支

項目	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
指定管理料	4,911,000	4,911,000	4,911,000							
提案事業収入(販売・喫茶)	20,576,000	17,957,643	20,000,000							
自販機		47,270	45,000							
その他・自主イベント		2,537,619	2,700,000							
収入計(A)	25,487,000	25,453,532	27,656,000							
支出計(B)	25,487,000	30,414,174	26,842,000							

(単位:円)

事業収支(A-B)	0	-4,960,642	814,000							
-----------	---	------------	---------	--	--	--	--	--	--	--

※収支項目は、施設の実態に合わせて作成してください。